

かがやく女性

vol.60

2026年3月25日発行
(公財)ふくい女性財団

- The Fukui Women's Foundation News Letter -

特集

仕事も人生も、自分らしく ～リケジョのキャリアストーリー～

帝人株式会社
再生医療・埋込医療機器部門
事業戦略推進部

小丸 香奈恵 氏



理工系分野は今も「男性が多い」というイメージが根強く残っています。本来、進路や仕事の選択は性別で決められるものではありません。興味や関心、得意なことを起点に選んだ道の先に、理工系というフィールドがある人もいます。今回は、当財団が行っている、「高校生のための科学・技術者への招待セミナー」にてご講演いただいた、理工系分野でご活躍の、帝人株式会社 小丸香奈恵さんにインタビューしました。

理系を選択したきっかけを教えてください

小学生の頃から海外の医療ドラマが好きで、将来は医療に関わる仕事に就きたいと考えていました。また、お菓子作りが好きで、家族の誕生日には毎年手作りケーキを焼いていました。材料の分量を少し間違えるだけで仕上がりが変わるため、正確に量り、成功と失敗を重ねながら上達していく過程がとても楽しかったことを覚えています。振り返ると、この経験は理科の実験に近く、理系分野への興味を育てるきっかけになったと感じています。高校1年生で文理選択をした際、国語が苦手だったこともあり、自然と理系を選びました。

現在はどのようなお仕事をされていますか

心臓・血管手術用パッチ「シンフォリウム®」の研究開発および事業戦略に携わりました。「シンフォリウム®」は、生まれつき心臓の構造が正常と異なる先天性心疾患の治療に用いられる補綴パッチです。従来のパッチでは、異物反応による劣化や成長に追従できないことから再手術が必要となるケースが多く、患者さんやご家族に大きな負担が生じていました。こうした課題に対し、大阪医科薬科大学、福井経編興業、帝人が産学連携し、成長に伴い伸張する特



シンフォリウム®

殊構造を備えた「シンフォリウム®」が開発されました。本製品は再手術リスクの低減が期待され、

2023年7月の承認取得後はテレビや新聞でも広く取り上げられました。私は承認申請に必要な試験データ取得に携わるとともに、応用展開テーマの初期設計開発も担当しました。現在は、心臓血管とは異なる領域で、埋込医療機器の事業戦略立案を中心に業務を進めています。



大野高校講演資料より

理系に進んでよかったことや、やりがいはどんなところですか 失敗や困ったこともあると思うのですが…

大学3年生から研究室に所属し、誰も解明していない未知の領域に挑むことに、大きなやりがいを感じていました。私は、高分子化合物を合成し無機物質と複合化する研究に取り組んでおり、複合化の成否は電子顕微鏡を覗いて初めて分かります。観察中、これまで見たことのない結晶構造に出会ったときは思わず、「ナニコレ！」と声が出るほど興奮しました。研究は思い通りにならないことの連続ですが、原因を探る過程そのものが楽しく、

理系を選んでよかったと実感する瞬間でもありました。企業の研究開発では、開発品の評価系構築に苦労しました。既存手法でデータが得られず、測定装置を手作りしたこともあります。しかし、一人では困難な課題も、専門家が集まるチームで協力し合うことで乗り越えることができ、大きな達成感を得ました。

ワークライフバランスについて 意識していることを教えてください

研究職では時間の使い方を自分で設計しやすいため、「実験日」「デスクワーク日など」に分ければ残業時間が少なくて済むので、頭が休まるように工夫をしていました。また、「考えている時間＝仕事」になりがちなため、仕事が終わったら趣味に没頭するなど脳を切り替えるようにしていました。ですが、お風呂に浸かりボーっとしているときに仕事のアイデアが浮かんでくることもあり、完全に切り替えることは現在もできておりません。

結婚や出産を経ての仕事について、 考えや経験を教えてください

出産後は、育児のため短時間勤務を利用しております。限られた勤務時間の中で業務を円滑に進めるため、生成AIを活用した作業効率化や優先順位付けを工夫しています。また、必要会議を中心に参加する、テレワーク時間を増やすなどで時間を確保するようにしています。出産後は求められる最低限の成果をまず出して、余力があればクオリティを高めるといった仕事のスタンスになりました。育児で培った能力もあります。子どもをみ

ながら家事をこなすことを繰り返した結果、マルチタスク能力が上がったと感じており、現在の仕事にも活かされていると思っています。

これから理系を目指す女性へ 応援メッセージをお願いします

理系にかかわらず、文系を目指す方にも言えることですが、自分の将来なりたい像（人生プラン）を若いうちから具体的に考えておくことは大事だと思います。日々の勉強や、大学受験、就職活動などの原動力になるからです。情報量の多い時代だからこそ、様々なことに興味を持ってとことん調べてみてください。人生は一度きりですし、好きなことを仕事にできるのはとても幸せなことです。理系の分野は、好きでないと続けられないことが多いです。理系に向いているかどうかではなく、理系への好奇心や学んでみたい気持ちを優先してください。皆様のご活躍を祈念いたしております。



大野高校にて講演会の様子



高校生のための 「科学・技術者への招待セミナー」と交流会



女性の研究者・技術者による先端研究やキャリア選択についての体験談を聴くことで、女子生徒の科学・技術者への挑戦を促すセミナーを今年度は敦賀気比高校と福井県立大野高校で開催しました。

大野高校は、帝人株式会社の小丸香奈恵氏、敦賀気比高校は、大塚製薬株式会社の林睦代氏を講師に迎えました。林氏からは理系を選択した理由や、創業の仕事内容について、また、生徒への応援メッセージや進路選択のアドバイスをいただきました。講演後、交流会では女子生徒がグループに分かれ、講師や県内の企業等で活躍する理系女性社員に対し、理系の魅力などを熱心に質問して進路選択の参考にしていました。



《参加者の声》

- 身近な人に理系の人がないからこそ理系の人の話を聞いてよかった
- 今の選択や考えに不安があったので、話を聞くことができ進路を考える参考になった

ふくい女性活躍支援センター

ふくい女性活躍支援センターでは、就職相談・職業紹介、キャリア相談、保育所・子育て相談に応じています。

例えば

- 求人に応募したいので、紹介状が欲しい
- 自分がどんな仕事に向いているか知りたい
- 履歴書、職務経歴書を作りたいが、なにを書いていいかわからない
- 今の仕事を続けていくことに不安がある
- 保育所の入園の仕方、特徴などの情報が欲しい
- 子育て支援についての情報がほしい など

■就職やキャリアアップに役立つ図書や雑誌を貸し出しています（3冊、2週間まで）

女性のための創業相談

女性の中小企業診断士による創業相談を開催しています。創業（起業）に興味のある方から、具体的な支援を希望している方まで、幅広く皆さんの不安や悩みをお聴きし、一緒に考え、問題解決のお手伝いをします。お気軽にご相談ください。

■実施期間 令和8年4月～令和9年3月

■実施日 月1～2回（HPでご確認ください）

■実施時間 13:00～17:00（1回90分程度）

■相談無料

■予約優先です。お電話（0776-41-4244）にてお申し込みください。

お気軽にご相談ください！



【問い合わせ】ふくい女性活躍支援センター



【相談時間】9:00～16:45

※相談時間は内容により異なります。

【休日】毎週月曜日、第3日曜日、国民の祝日の翌日、年末年始（12/28～1/4）

【TEL】0776-41-4244

【場所】福井県生活学習館（ユー・アイふくい）2階

ユーアイ・ふくい 相談室

ひとりで抱え込んでいませんか？

- パートナーから暴力を受けている
- 家族・夫婦・友人関係がうまくいっていない
- 離婚を考えているけど、その後の生活が不安
- 子育てについて悩んでいる
- 自分自身のことで悩んでいる

女性相談員がDV、女性のさまざまな悩みに寄り添い一緒に考えます。秘密は厳守します。まずはお電話ください。



ユー・アイふくい相談室（運営：ふくい女性財団）

- 女性総合相談 ●DV被害相談
 - 特別相談（[こころ]第1土曜日、[法律]第4土曜日）
- 相談専用電話：0776-41-7111
火～日曜日 9:00～16:45

子育てファミリーを応援!!

チャイルドルーム

●利用できる方

- 県生活学習館、中小企業産業大学校、県立図書館・文書館・ふるさと文学館をご利用の方
- 就職活動等をされる方
- ふくい女性活躍支援センターで就職相談などをされた方

●お預かりできるお子さん

生後6か月から小学校就学前のお子さん

●利用できる時間

生活学習館開館日 9時～12時、13時～17時

●利用方法

ご利用日の3営業日前までにWebにて予約

●費用 お子さん一人につき半日300円

利用申込はこちらから



資格取得を目指す、パパママへ
こんな利用の方、増えています！

- キャリアアップのために、産休・育休中に学び直し
- 育休明けの職場復帰に備えてのリスキング
- 育児をしながら自分のやりたいことに挑戦!!

【初回無料】

社外メンターとのキャリア相談会(メンタリング)を実施します

社内で女性活躍を牽引し、管理職やリーダーとして活躍する「社外メンター」が、今後のキャリア形成や働き方などの不安や悩みに対しアドバイスを行います。女性社員の「なんとなく不安」の解消にぜひご活用ください。

【対象企業】 県内に本社・事業所がある企業

【相談者の要件】 対象企業に勤務する女性社員

【お問い合わせ】 ふくい女性財団

TEL：0776-41-4254



社外メンター詳細ページ



【相談者の声】

- 職場では言えないことが話せて気持ちが整理できた
- リーダーシップの取り方や若手育成の不安が解消した



【企業担当者の声】

- 話をして自分を振り返ることで問題解決のきっかけになったようで「相談してよかった」と言っていた
- 社内の上下関係では得られない気づきがあり、大変参考になったようだ

キャリアアップ応援講座

働く女性のための アサーティブコミュニケーション講座

特定非営利活動法人アサーティブジャパン 認定講師
寺地 典子 氏

価値観の多様化や世代間ギャップによって、職場でのコミュニケーションはハラスメントやメンタルヘルスの不調に繋がりがやすくなっていることや、自分の率直な意見を伝えながら信頼関係を築くアサーティブコミュニケーションについて学びました。

コミュニケーションの
勇気が湧いた



自分も相手もストレスの少ないコミュニケーションを心掛けたい

パパママ応援講座

クイズやお絵描きで！ 楽しみながら学べる 親子のおこづかい講座

株式会社イー・カンパニー 代表 八木 陽子 氏

クイズやおもちゃを使ってお金の仕組みを学びました。また、お金は親が働いて得た大切にすべきもののだとして、毎月のおこづかいを自分の好きなことに使う、他人のために使う、貯金する、という3つの使い方に分けて、親子でおこづかい契約書を作成しました。

子どもとおこづかいについて考える良い機会になった



むずかしいお金の話が身近に感じられた

次世代育成セミナー

私が選ぶ私の進路 ～一人ひとりが輝くために～

開催校：福井市美山中学校、池田町立池田中学校
若狭町立上中中学校、越前町立越前中学校

性別職域分離に関する講義後、男性が多い職業で働く女性（消防士・建築士・ダンプトラック運転手・新聞記者）や女性が多い職業で働く男性（美容師・司書・看護師）から、仕事上で大切にしていることや、中学生へのメッセージなどをお話いただきました。

アンコンシャスバイアスについて知ることができた



この職業は女性または男性がする職業だと捉われないことが大切だと学んだ

指導者養成講座

あたりまえのアップデート ～誰もが生きやすい社会のために～

金沢大学 准教授 元山 琴菜 氏

一見褒めている発言の中にも、無意識の偏見が働き、固定観念を植え付けてしまう可能性が潜んでおり、自分たちの「普通」を書き換えていかないと知らず知らずのうちに差別に加担してしまう危険性があるとのこと。多様性の世の中で常にアップデートをしていくことの大切さを学びました。

事例が多くあってわかりやすかった



日ごろ疑問に思っていたこと、もやもやしていたことを学術的に話していただき、よく理解できた

女性財団 開催講座報告

地域連携講座

自助共助を考えよう！ みんなで備える地域防災

福井工業高等専門学校 助教 芹川 由布子 氏

男女共同参画の視点から避難所計画や支援のジェンダー差を説明されました。東日本大震災等の例を挙げ、男性と比べて女性の被害や睡眠障害の割合が高いこと、女性用品や小児用品、お湯の不足といった支援ニーズの違いを指摘し、備える防災、自助共助について学びました。



地震災害について身近に感じられ、これからの生活を見直すことがたくさんあった

男性中心の防災組織を是正していきたい

教育連携講座

性の多様性を認め合おう ～LGBTQってなあに？～

福井工業大学 非常勤講師 武内 昭子 氏

多様な性、LGBTQについての基礎、LGBTQの方たちが受けている差別や困難等について、具体的な当事者の例を挙げて話され、多様性を認め合うことの大切さを学びました。

性の多様性を認め合っ
て、性別に悩んでいる人
がいたら、そっと寄り添
って話を聞いてあげられ
るような人間でいたい

『違いがあっても全ての人間が尊重されなければならない』という言葉
を心に入れた



女性のための再就職支援セミナー

働く上で知っておきたい社会保険・労働関係法

今までの自分の経験を振り返り、将来に向けた働き方を考える上で、税金の壁・社会保険の壁を理解し、扶養の範囲での働き方や社会保険加入のメリットについて最新の情報等を含めた説明がありました。また、働く上で知っておくべき労働基準法等の説明により、労働条件に関する疑問や不安等の解消に結び付けることができました。セミナーに併せ、企業面談会を実施しました。



将来の年金を考えると、年収の壁を気にせず働いた方がよいとも思った

すごく分かりやすく勉強になり、働き方をよく考えて再就職をしたいと思う

企業連携講座

スタッフが動き出す1on1面談術 ～残念な事例・うれしい事例から学ぶフィードバックのコツ～

オフィス・マインドルージュ 代表 藤田 由美子 氏

面談時の質問の仕方によっては、マイナスの感情を引き出してしまふことを知り、やる気を引き出す質問のポイントや、もっと話したくなる聴き方・受け止め方のコツを学び、ペアになって練習を行いました。また、日頃から「ほめる・認める・評価する」を意識して「頑張っているね」「いつも助かる」など声かけを行い、信頼関係を構築しておくことが重要であるとアドバイスがありました。



モチベーションを上げるための声かけを実践していきたい

質問を変えるだけで、悩みの解決の糸口が見えやすくなる
ことが分かった

DV防止啓発

活動

街頭啓発キャンペーン・パネル展

11月12日から25日「女性に対する暴力をなくす運動」の期間にあわせて、県内各地でDV防止啓発と相談機関の周知を目的とした街頭啓発キャンペーンとパネル展を実施しました。

実施場所

[街頭啓発] 福井駅、エルパ、敦賀駅

[パネル展] 県立図書館、福井大学、鯖江市役所など
県内8か所で実施



教育講座

知ってほしい考えてほしい デートDVのこと ～加害者にも被害者にも傍観者にもならないために～

講師：ふくい女性財団職員

DV（デートDV）等の発生の未然防止や啓発を目的とした講座を県内の高校等で実施しました。DVについて正しく知ること、もし悩んだときは一人で抱え込まず信頼できる人に相談することの大切さを伝えました。



《参加者の声》

- 自分の周りにもデートDVを受けている人がいるので、話を聞いてあげようと思った
- 自分には関係ないと思っていただけ、話を聞いて身近なことだと思った

いま輝いています

[加盟団体] 福井県連合婦人会

【主な活動や方針について】

福井県連合婦人は年間を通して、各市町会員が「進む、語る、集う、励む」をモットーに、様々な事業を実施しています。

主な事業として

- 体育関係「県婦人体育祭」「県婦人バレーボール大会」
- 文化関係「文化講演と会員のつどい」「学習会・研修会」「新年のつどい」「県連婦会報発行」等
- 福井県の委託事業「おいしいふくい食べきり運動」
幼保こども園への出前学習会等、食品ロス削減につなげるための普及啓発活動
県及び各市町の環境フェア等にて、アンケート調査、パネル展示等の実施
- 福井県文化振興事業団との協働事業「おとまちプロジェクト（ドラムサークル）」

会員以外の方々ともふれあうことの出来る音楽のまちづくり活動
今後は、ファシリテーターの育成・活動に注力

【これからの抱負とメッセージ】

私達は、学習を重ね、実践へと結ぶ活動を重視しています。

若者へ、次世代へと、新しい事業への挑戦を試みる勇気を持ち、多くの皆様の理解を得ながら、地域の活性化に一役を担いたく、惜しまず努力をしていきます。

本年（2026年）は創立80周年の記念事業を開催いたします。諸先輩の築き上げた歴史を大切に感じ、皆様との親睦を深め、今後も地域社会へ貢献していきます。



キャリアカフェ

「キャリアカフェ」を県内の3大学にて行いました。

ハッピーキャリア“縁”カレッジ受講中の企業で働いている女性を招き大学生と交流しました。



和やかな雰囲気の中、就職活動ではなかなか聞くことのできない、仕事やプライベートのリアルな部分を語っていただきました。

大学生は話を聴きながら数年後の自分を想像したり、就職先を決定する一助としたのではないのでしょうか。

《参加者の声》

- ・県内で働く社員の方々と直接話す貴重な機会で、仕事のやりがい・楽しさ・辛さ・乗り越え方など知ることができてよかった
- ・不安に思っていたことも聞いてくださり気が楽になった
- ・就職先の選択で悩んでいたことに対していろいろな意見を聞けたので、すごく参考になった

ゾンタクラブコロボ

期間：令和7年11月25日～12月10日（16日間）
会場：西武福井店8階

ふくい女性財団では、事業紹介のパネル展示や配偶者からの暴力（DV）に関する予防啓発パネル展、リーフレット等の配布を行いました。

この活動は、国の「女性に対する暴力をなくす運動」にちなみ、賛助会員団体の国際ゾンタ福井ゾンタクラブ、福井FINEゾンタクラブの「ZONTA SAYS NO」キャンペーンとの共催により実施され、福井駅西口広場恐竜モニュメントのライトアップも行われました。



ふくいウイメンズ・オアシス

福井県生活学習館2階（運営：ふくい女性財団）

[TEL]0776-89-1008

開館日の9:00～12:00、13:00～17:00



女性のためのピアサポートサロン

～分かり合える人との出会い、共感から生まれる心のゆとり、
得られる知恵や情報～

人の話を否定しないという約束の下で、女性同士が少人数で気軽におしゃべりする「ピアサポートサロン」は、「話す・聴く」のどちらも大切にします。穏やかな会話があれば、共感できすぎて大盛り上がりの会話、時には涙があふれる語りもあります。自分のことを話し、他の人の話に優しく耳を傾ける。そうやって一緒に時間を過ごすことによって、笑顔や心のゆとり、私らしく過ごす力が生まれている気がします。

私たちは、ひとりじゃありません。さまざまな思いを抱えた女性たちの、心のオアシスになれることを願って運営しています。お気軽に足を運んでみてください。※スタッフと話したり、ゆっくり一人の時間を過ごしていただくためのサロンもあります。

《参加者の声》

- ・普段なかなか言えない気持ちを口にすることができた。女性同士というのも安心
- ・皆さんの話を聞き、私も自分の感情や経験を一緒にシェアできたことが、とても嬉しかった
- ・自分が話すだけでなく、専門家の助言もあり、他の方の話も聞いて良かった。自分と向き合う時間は大切だと思った
- ・悩んでいるのが私一人じゃないと思えた
- ・皆さんと話しができて、とても明るい気持ちになれた
- ・不安を減らして次の行動に移すことが大事、と後押しされた
- ・フラットな関係で話すことができて、良かった
- ・ざっくばらんに話ができて、気持ちがほぐれた。他の参加者に刺激をもらい、前向きな気持ちになれた



【ふくい女性財団の企画「ぐるり」】
テーマに沿った専門家も交えて、ざっくばらんに話せるサロン



【ピアサポーター連携サロン】
それぞれの悩みや課題の当事者・経験者によるサロン



【出かけるピアサポートサロン】
県内各地で開催するサロン

会員のつどい開催

財団設立30周年記念

日時：令和7年11月7日(金)
会場：福井県民ホール



県内男女共同参画の一層の推進と会員同士の交流促進を図るため、「30周年記念 会員のつどい」を開催しました。

加盟団体をはじめ、20周年以降にお世話になった皆様に参加いただき、30年のあゆみを映像等で振り返り、これからも誰もが“しあわせ”を実感できるよう、より輝く未来のために男女共同参画社会の実現をめざす事業展開を紹介しました。



あなたとともに、未来へ。
公益財団法人ふくい女性財団

※記念動画「30年のあゆみ」はこちらでご覧いただけます
<https://www.youtube.com/watch?v=pPj5ypiqVHg>



財団サポーターになりませんか？

賛助会員募集

ふくい女性財団では、財団の趣旨に賛同し、応援し一緒に歩んでくださる賛助会員を募集しています。

年会費（すべて1口あたりの金額です）

- ・ 県域法人および団体 10,000円/口
- ・ 地域法人および団体 5,000円/口
- ・ 一般(個人および企業) 3,000円/口



会員特典

- ・ 機関紙・研修案内送付
- ・ 有料講座の割引 ・ 研修会等への優待
- ・ 女性団体支援事業による助成(団体会員のみ要審査)
- ・ 生活学習館1階カフェ「フチル」割引クーポン
- ・ 2回目以降の社外メンター派遣利用料金2割引(一部条件あり)

寄附金募集

「DV被害者等自立支援基金」「一般寄附金」の寄附を幅広く募集しています。

いただいた寄附金は、DV被害者などへの金銭的支援や当財団の運営に有効に使用させていただきます。詳しくは、財団ホームページをご覧ください。

令和7年度 寄附のご紹介 (令和8年3月現在)

「DV被害者自立支援基金」
福井FINEソントクラブ 100,000円

※当財団の賛助会員と寄付金は税制上の優遇措置対象

決定!

ふくいきらめきフェスティバル2026

日時：6月20日(土)
会場：福井県生活学習館

ふくいきらめきフェスティバル2026は、武田砂鉄さん(ライター)を講師に迎えご講演いただきます。

※詳細は後日ホームページに記載します



令和8年度 ふくい女性財団開催講座のご案内

働く女性のキャリアアップ応援

｜キャリアアップ応援講座｜

対象：県内の働く女性

日時	内容	講師	定員
6月上旬 13:00～16:00	南 コミュニケーション（聴き方）	オフィス・マインドルージュ 代表 藤田 由美子 氏	30名
7月28日(火)13:00～16:00	タイムパフォーマンス	(株)AND CREATE 代表取締役 清水 久三子 氏	30名
9月17日(木)13:00～16:00	仕事に活かせる経済知識	(株)インソース	30名
2月26日(金)13:30～16:30	オ AI活用術	ジャイロ総合コンサルティング(株) 相原 宏美 氏	40名

企業における女性活躍推進

｜キャリア・アカデミー｜

対象：女性管理職・管理職予備層

日時	内容	講師	定員
8月7日(金)10:00～15:30	心理的安全性の視点を取り入れたリーダーシップ（前編）	(株)ザ・アカデミージャパン プロフェッショナルトレーナー 林 朋子 氏	30名
9月4日(金)10:00～15:30	心理的安全性の視点を取り入れたリーダーシップ（後編）	(株)ザ・アカデミージャパン プロフェッショナルトレーナー 林 朋子 氏	30名
調整中	オ クリティカルシンキング（仮）	調整中	40名
調整中	オ 勇気づけの部下育成（仮）	調整中	40名

女性リーダーサポート講座

対象：女性部下を持つ管理職（性別不問） 定員：30名

日時	内容	講師
10月7日(水)10:00～15:30	女性部下への仕事の任せ方（成長を促す）	(株)インソース

男女パートナーシップ推進

｜指導者養成講座｜

対象：男女共同参画に関する地域・組織のリーダー 定員：30名/回

日時	内容	講師
8月26日(水)13:30～15:00	男女のコミュニケーション解体新書	福井工業大学 非常勤講師 武内 昭子 氏
9月26日(土)13:30～15:00	アニメキャラクターからみるジェンダー論	新潟大学 人文学部 教授 石田 美紀 氏
10月24日(土)13:30～15:00	人生100年時代を楽しむシニアライフデザイン	(株)アドバンス・パートナーズ CFP® とみた 早苗 氏
11月14日(土)13:30～15:00	国際男性デー～男らしさとは～	大阪教育大学 教育学部 教授 小崎 恭弘 氏

※2026年3月時点の情報です。講座は原則生活学習館で開催します。オ オンライン開催の講座 南 嶺南地域開催講座

※講座内容、講座時期、講師は変更となる可能性があります。詳細はホームページをご覧ください。

令和8年度 講師派遣のご案内

ふくい女性財団では、性別をこえて誰もが輝く社会づくりに向け、研修会や講座を実施する団体に講師を派遣しています。ぜひ、ご活用ください。各講座に関する案内はホームページ等をご確認ください。

◆男女共同参画社会の推進に関するもの（ただし、営利・政治・宗教活動を除く）

講座名称	対象	開催テーマ（例）
地域連携講座	地域で活動する団体等	・性の多様性について理解を深める ・DVの現状 ・男女共同参画の視点での防災
教育連携講座	学校や教育関係団体	・LGBTQについて ・家族のありかた ・いのちってなんだろう？～男の子も女の子も知っておきたいこと～
県民活動支援講座	県内で活動するグループや団体	・ジェンダー平等について ・アンコンシャス・バイアスについて ・男女共同参画の理解促進

[募集期間] 令和8年4月～令和9年2月 ●前期：令和8年4月～令和8年9月（前年度に派遣実績がない団体など）
●後期：令和8年10月～令和9年2月
※各講座によって募集件数が決まっており、申込時期によってはお断りする場合があります。

[実施時期] 令和8年5月～令和9年3月

[依頼方法] ・まずは、電話やメール等でふくい女性財団までご相談ください。
・開催希望日の1ヶ月前までに申請書をふくい女性財団まで提出してください。

◆女性活躍推進（男女問わず働く方すべてが活躍できる職場づくり）に関するもの

講座名称	対象	開催テーマ（例）
企業連携講座	ふくい女性活躍推進企業	・アンコンシャス・バイアスについて ・コミュニケーションスキルの向上 ・ハラスメントの防止に向けて ・女性の更年期やPMSと働き方 ・キャリアデザイン ・ワーク・ライフ・バランス

[募集企業数] 5企業程度（原則先着順・これまで実施していない企業を優先します。）

[募集期間] 令和8年6月～令和9年1月

[実施時期] 令和8年8月～令和9年3月

[研修時間] 90分程度

[依頼方法] 開催希望日の原則2ヶ月前までに、ふくい女性財団までご相談ください。

◆学校等における講座に関するもの

講座名称	対象	開催テーマ（例）
DV防止啓発教育講座	県内高校等	・DV、デートDV防止の基礎学習 ・DV、デートDVの現状
次世代育成セミナー	県内中学校	・性別職域分離に関する講義 ・異性が多い職種で働くひとの体験談発表

[募集期間] DV防止啓発教育講座…令和8年4月～令和9年2月、次世代育成セミナー…令和8年4月～令和9年12月
※各講座によって募集件数が決まっており、申込時期によってはお断りする場合があります。（原則先着順）
※7月中に次世代育成セミナーの開催を希望する場合は、遅くとも5月8日（金）までにお申し込みください。

[実施時期] DV防止啓発教育講座…令和8年4月～令和9年3月、次世代育成セミナー…令和8年7月中旬～令和9年2月

[依頼方法] ・まずは、電話やメール等でふくい女性財団までご相談ください。
・開催希望日の1ヶ月前、（次世代育成セミナーは3ヶ月前）までに申請書をふくい女性財団まで提出してください。

各講座共通事項

[講師] 講師は主催者との協議のうえ決定します。（県内講師に限ります）

[参加人数] 1講座あたり20名以上（原則）

[費用負担等] ・講師の謝金および旅費は、ふくい女性財団が負担します。
・アンケート用紙（様式は財団指定）の準備と実施後の回収にご協力ください。

<お問い合わせ先>公益財団法人 ふくい女性財団

〒918-8135 福井県福井市下六条町14-1（福井県生活学習館内）

TEL：0776-41-4254 FAX：0776-41-4260 E-mail：f-jhosei@f-jhosei.or.jp

